

平成27年度 東成区・区政運営の振り返りについて

東成区では「平成27年度運営方針」において、重点的に取り組む課題を下記の5つの項目に整理し、それぞれの課題の解決をめざして、具体的な取り組みを進めました。

➤ 運営方針とは

市政改革プランなど全市的な方針を踏まえて、東成区で行う施策の全体像を示す方針として毎年度策定しているもので、さまざまな課題解決のための施策や具体的取組を示しています。

5つの課題	関連する部会
課題1 安全・安心（防災・防犯）	にぎわい・きずな部会
課題2 子育て支援の充実	子ども・教育部会
課題3 まちの魅力向上	にぎわい・きずな部会
課題4 地域福祉と健康づくりの充実・推進	保健福祉部会
課題5 区役所力	—



区政会議資料は「平成 27 年、28 年度運営方針」（大阪市様式）から要点を抜粋し、見やすくわかりやすくするために「具体的取組」を中心に編集しました。詳しい内容は大阪市様式に記載していますので併せてご参照ください。

区政会議資料と運営方針の対比例

《区政会議資料》 P. 6

課題 1 安全・安心（防災・防犯）

【防災】

- ・ 各種訓練の計画的・組織的な遂行には地区防災計画を策定し、各過程を地域住民が認識し、行動に反映させていく必要がある。
- ・ 中長期（1～3 か月）の避難生活を想定した収容避難所運営訓練が必要である。

【防犯】

- ・ 区役所職員（あんパト）や街頭犯罪防止チーム（市民局委託業者）による青色防犯パトロールカーや自転車による巡回をはじめ、警察や地域との連携による「見せる警戒」に取り組み、犯罪の抑止活動を強化する必要がある。
- ・ 学校の土曜日授業などを活用した防犯教室を行い、子どもが犯罪に巻き込まれないよう啓発するとともに、犯罪に巻き込まれそうになった場合の緊急回避行動の習得に取り組む必要がある。
- ・ ひったくりなどの街頭犯罪に対し、警察や地域との協働で、ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン等を行い、区民が被害者とならない啓発に取り組む必要がある。

《平成 27 年度運営方針》 （参考資料 1 P. 25）

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞	
計画	<防災> ・ 地域の初期初動訓練は、それぞれのパートごとの訓練に留まっており、計画的かつ組織的な初期初動の動きとはなっていない。 ・ 東成区では、災害時の初期初動訓練（初期消火・救助・収容避難所開設訓練）を中心に実施している。しかしながら、災害時に住居を失った場合は、中長期（1～3 か月）の収容避難所生活が強いられるため、地域で自主的に避難所運営ができるよう取り決めなどを策定し、地域住民自身が理解しておく必要がある。
	<防犯> ・ 子ども事案、街頭犯罪の発生件数は、若干減少傾向にあるが、予断を許さない状況である。 ・ 区役所職員（あんパト）による巡回や街頭犯罪防止チーム（市民局委託業者）等の巡回に加え、更に警察との連携を強化し、犯罪を犯す隙を与えない警戒が必要である。
課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞	
計画	<防災> ・ 各種訓練の計画的・組織的な遂行には地区防災計画を策定し、各過程を地域住民が認識し、行動に反映させていく必要がある。 ・ 中長期（1～3 か月）の避難生活を想定した収容避難所運営訓練が必要である。
	<防犯> ・ 区役所職員（あんパト）や街頭犯罪防止チーム（市民局委託業者）による青色防犯パトロールカーや自転車による巡回をはじめ、警察や地域との連携による「見せる警戒」に取り組み、犯罪の抑止活動を強化する必要がある。 ・ 学校の土曜日授業などを活用した防犯教室を行い、子どもが犯罪に巻き込まれないよう啓発するとともに、犯罪に巻き込まれそうになった場合の緊急回避行動の習得に取り組む必要がある。 ・ ひったくりなどの街頭犯罪に対し、警察や地域との協働で、ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン等を行い、区民が被害者とならない啓発に取り組む必要がある。

【具体的取組 1-1-1】 地域防災対策の支援（「参考資料 1」 P26 参照）

27年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

区内 5 地域以上で、地区防災計画を策定し、収容避難所運営訓練・防災教育支援などに取り組む。

【取組実績】

地区防災計画を 27 年度までに 5 地域で策定。収容避難所運営訓練も 2 地域で実施。また、地域での勉強会、説明会を実施するとともに、区災害救助部長会で訓練説明会も実施。

さらに、学校園との防災支援のための打ち合わせも実施。

【業績目標の達成状況】

業績目標を達成。

28年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P53 参照）

地域の「地区防災計画」の策定や防災訓練の充実を図るとともに、事業者等との連携のための協力企業登録制度を進める。また、学校園が行う防災教育を支援する。

平成 28 年度運営方針の「具体的取組」から参照

《平成 27 年度運営方針》（参考資料 1 P. 26）

具体的取組 1-1-1 【地域防災対策の支援】		25年度実績	26年度実績	27年度実績
計画	取組内容	- 地域の地区防災計画の策定を支援する。 - 地域での勉強会、説明会の実施:5回以上 - 各地域で中長期を意識した収容避難所運営訓練を実施する。 - 区災害救助部長会で訓練説明会を実施:1回以上 - 学校園が行う防災教育を支援するための取り組みを進める。 - 学校園との防災支援のための打ち合わせ:3回以上		
	業績目標（中間アウトカム）	区内5地域以上で、地区防災計画を策定し、収容避難所運営訓練・防災教育支援などに取り組む。		
	【撤退基準】	上記取組の実施が3地域以下の場合は事業を再構築する。		
	前年度までの実績	- 平成26年度より地区 - 収容避難所運営訓練		
中間評価	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「2」、「3」、「X」がある場合は必須	
	①:目標達成(達成) (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施していない ②:目標未達成(達成) (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施していない ③:最低基準未達成		—	
自己評価	取組実績	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す	課題 ※左記に「2」、「3」、「X」がある場合は必須	
	- 地域での勉強会、説明会の実施:23回 - 区災害救助部長会で訓練説明会を実施:2回 - 学校園との防災支援のための打ち合わせ:10回 - 地区防災計画の策定:26年度1地域、27年度4地域 - 収容避難所運営訓練の実施:2地域		—	
自己評価	業績目標の達成状況	①(X)	改善策 ※左記に「2」、「3」、「X」がある場合は必須	
	取組実績と一致		—	
自己評価	取組に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す	改善策 ※左記に「2」、「3」、「X」がある場合は必須	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施していない ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施しなかった ③:最低基準未達成		—	

「中間アウトカム」とは「平成 27 年度の 1 年間における業績目標」を意味します。

☆課題ごとの取組実施状況☆

課題 1 安全・安心（防災・防犯）

【防災】

- ・ 各種訓練の計画的・組織的な遂行には地区防災計画を策定し、各過程を地域住民が認識し、行動に反映させていく必要がある。
- ・ 中長期（1～3 か月）の避難生活を想定した収容避難所運営訓練が必要である。

【防犯】

- ・ 区役所職員(あんパト)や街頭犯罪防止チーム(市民局委託業者)による青色防犯パトロールカーや自転車による巡回をはじめ、警察や地域との連携による「見せる警戒」に取り組み、犯罪の抑止活動を強化する必要がある。
- ・ 学校の土曜日授業などを活用した防犯教室を行い、子どもが犯罪に巻き込まれないよう啓発するとともに、犯罪に巻き込まれそうになった場合の緊急回避行動の習得に取り組む必要がある。
- ・ ひったくりなどの街頭犯罪に対し、警察や地域との協働で、ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン等を行い、区民が被害者とならない啓発に取り組む必要がある。

【具体的取組 1－1－1】 地域防災対策の支援（「参考資料 1」 P26 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

区内 5 地域以上で、地区防災計画を策定し、収容避難所運営訓練・防災教育支援などに取り組む。

【取組実績】

地区防災計画を 27 年度までに 5 地域で策定。収容避難所運営訓練も 2 地域で実施。また、地域での勉強会、説明会を実施するとともに、区災害救助部長会で訓練説明会も実施。

さらに、学校園との防災支援のための打ち合わせも実施。

【業績目標の達成状況】

業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P53 参照）

地域の「地区防災計画」の策定や防災訓練の充実を図るとともに、事業者等との連携のための協力企業登録制度を進める。また、学校園が行う防災教育を支援する。

【具体的取組 1－2－1】

防犯意識の向上と関係機関との連携強化（「参考資料 1」 P27 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

子どもの防犯教室の開催や青色防犯パトロールカー、街頭犯罪抑止チーム等の巡回など、区が取り組む防犯活動を知っていると回答した区民の割合：50%以上

【取組実績】

小学校等で子ども防犯教室を 25 回実施。

LED ベストを着用した街頭犯罪抑止チームが各地域を巡回した回数：244 回

【業績目標の達成状況】

区民モニターアンケートの結果、区が取り組む防犯活動を知っていると回答した区民の割合が 86%であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P54 参照）

街頭犯罪の抑止に向けて、防犯カメラの設置を進め、子どもへの防犯啓発と地域の自主防犯活動、警察等との連携による防犯対策に取り組む。

課題2 子育て支援の充実

- ・ 核家族化や地域コミュニティの希薄化により子育てが孤立化しやすく、子育てに不安感や負担感を感じる子育て家庭も多い。
- ・ 子育て家庭が安心して子育てできるよう、身近な相談・支援体制の充実や様々な機会や多様な媒体を活用した情報提供に努め、地域社会全体で子育て中の保護者を支援する仕組みを充実していく必要がある。
- ・ 仕事と子育ての両立支援が図られるよう、保育所待機児童0人の状況を維持していく必要がある。
- ・ 健全な生活習慣の形成や多様な体験ができる環境づくりのためには、家庭や学校園、地域が連携して、子どもや学校を支える環境作りが必要である。

【具体的取組2－1－1】

子育てネットワーク構築支援事業（「参考資料1」 P29 参照）

27年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」登録者数を平成27年度末までに就学前児童の20%（約800人）以上をめざす。

【取組実績】

「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の利便性を高めるため、地元商店街等の店舗や企業、大阪府と連携。また、子育てイベントや子育て応援隊事業を実施。

【業績目標の達成状況】

平成27年度末登録者数：1,199人（平成27年度1年間の登録者数：802人）であったため、業績目標を達成。

28年度 主な取組内容（「参考資料2」 P57 参照）

「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の取り組みや子育てイベントの充実を図るとともに、子育て応援隊を各地域へ派遣するなど、子育てを応援する取組を推進する。

【具体的取組 2－1－2】 子育てにかかる情報提供の充実（「参考資料 1」 P30 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

地域の子育て情報が充実していると感じる人の割合：85%

【取組実績】

子育て情報誌の発行にかかる編集会議を2回開催し、平成 27 年 12 月に発行。

【業績目標の達成状況】

乳幼児健診時アンケート等の結果、子育て情報が充実していると感じる人の割合が 86%であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P58 参照）

子育てに役立つ情報誌の発行や facebook を活用し、子育て世帯が必要とする情報発信を行う。

【具体的取組 2－1－3】 保育所待機児童の解消（「参考資料 1」 P30 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

保育所待機児童数：0 人（平成 28 年 4 月 1 日時点）

【取組実績】

区内保育所と随時、連絡調整を実施。また、平成 27 年度内に区内の認可外保育所が認可保育所に移行し、利用者の選択肢が増えた。

【業績目標の達成状況】

保育所待機児童数：0 人（平成 28 年 4 月 1 日時点）であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P58 参照）

子育て世帯の要望等について、保育所（園）や関係局と適宜、情報共有を図る。

【具体的取組 2－2－1】 子どもが育つ良好な環境整備 （「参考資料 1」 P31 参照）

27年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

区役所との意見交換が有意義であると感じる学校長の割合：60%

【取組実績】

学校長との意見交換会を 21 回実施。

【業績目標の達成状況】

アンケートの結果、区役所との意見交換が有意義であると感じる学校長の割合が 100%であったため、業績目標を達成。

28年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P56 参照）

小・中学校の校長との意見交換を行い、学校が必要とする支援を行う。

【具体的取組 2－2－2】 学校との連携強化 （「参考資料 1」 P32 参照）

27年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

区役所と学校の連携が進んでいると感じる学校長の割合：60%

【取組実績】

区職員が協力した土曜授業等を 11 回実施。

【業績目標の達成状況】

アンケートの結果、区役所と学校の連携が進んでいると感じる学校長の割合が 93%であったため、業績目標を達成。

28年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P56 参照）

小・中学校の校長との意見交換を行い、学校が必要とする支援を行う。

課題3 まちの魅力向上

- ・ 地域コミュニティの継続・発展のため、より多くの多様な区民が参加・参画できるよう、一層開かれた組織運営の地域コミュニティづくりを進める必要がある。
- ・ 多様な主体が協働して地域課題に取り組むには、それぞれの活動主体の情報を集め広く発信することによって地域活動に参画しやすい環境整備を強化する必要がある。

【具体的取組 3－1－1】 地域活動協議会に対する支援（「参考資料1」 P34 参照）

27年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

全 11 校下の地域活動協議会を中心とした地域運営のあり方に満足している区民の割合：60%

【取組実績】

中間支援組織を活用し、地域活動協議会等の会議・事業への参加参画回数：472 回

【業績目標の達成状況】

区民モニターアンケートの結果、全 11 校下の地域活動協議会を中心とした地域運営のあり方に満足している区民の割合が 58%であったため、業績目標を達成。

28年度 主な取組内容（「参考資料2」 P65 参照）

地域活動協議会への支援や地域情報の発信、交流会や勉強会を開催する。

【具体的取組 3－1－2】地域コミュニティの支援（「参考資料 1」 P35 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

地域実情に応じて中間支援組織の支援を受ける地域：11 地域

【取組実績】

中間支援組織が主催する意見交換会を 4 回、中間支援組織と区役所が連携した意見交換会を 2 回実施。

【業績目標の達成状況】

地域実情に応じて中間支援組織の支援を受ける地域が 11 地域であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P65 参照）

地域活動協議会への支援や地域情報の発信、交流会や勉強会を開催する。

【具体的取組 3－2－1】

広域・多様な区民・市民によるネットワークと東成区の地域資源活用（「参考資料 1」 P36 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

「ひがしなり街道玉手箱」参加団体数：90 団体

【取組実績】

「ひがしなり街道玉手箱」運営事務局会議の開催：32 回

「ひがしなり街道玉手箱」実行委員会（参加団体交流会）の開催：5 回

【業績目標の達成状況】

「ひがしなり街道玉手箱」参加団体数が 97 団体であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P66 参照）

区の地域資源を活用し、多様な主体と地域とがつながれる「ひがしなり街道玉手箱」を開催する。

【具体的取組 3－2－2】市民活動団体等との協働による課題解決（「参考資料 1」 P37 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した件数：2 件

【取組実績】

市民協働による公募型提案委託事業実施：2 件

【業績目標の達成状況】

協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した件数が2 件であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P67 参照）

地域課題の解決について市民活動団体等から提案をしてもらい、協働により取り組む「公募型提案委託」を実施する。

【具体的取組 3－2－3】

ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業（東成区市民活動推進助成）（「参考資料 1」 P37 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

当補助金を活用する市民活動団体等の事業：2 事業

【取組実績】

ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業への応募が3 件あり、うち2 件について補助金交付決定を行った。

【業績目標の達成状況】

当補助金を活用する市民活動団体等の事業が2 事業であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P67 参照）

ふれ愛パンジーを活用し、東成区のまちづくりが活性化する市民活動に対して助成を行う。

【具体的取組 3－2－4】モノづくり次世代育成支援事業（「参考資料 1」 P38 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

東成区がモノづくりのまちであるという認識が深まった区民の割合：50%以上

【取組実績】

「わが町工場見てみ隊」や「わくわく東成こどもモノづくり体験フェスタ」を実施。

【業績目標の達成状況】

モノづくり体験フェスタ参加者へのアンケートの結果、東成区がモノづくりのまちであるという認識が深まった区民の割合が 87%であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P68 参照）

区の特徴である「モノづくり」を通じて、次世代を担う人材育成に取り組む。

課題4 地域福祉・健康づくりの充実・推進

【地域福祉の充実】

- ・ 地域福祉活動を効果的に推進するために、情報発信を充実させ、より広く対象者に周知し、地域でのつながり拡大が必要である。
- ・ 区民の多様なニーズに対応する取組みを進め、地域活動の担い手の拡大を図り、活動を効果的かつスムーズに推進していくため、関係者による議論の充実が必要である。
- ・ 多くの区民の参画による活動の推進には地域福祉への関心を高めることが重要であり、継続的かつ効果的な啓発が必要である。
- ・ 地域の支え合いのための活動に、多くの区民をはじめ民間事業者や専門機関等が参画・連携していく必要がある。

【健康づくりの推進】

- ・ 正しい知識等の普及啓発等による健康づくりの気運を高め、がん検診等の受診者増に繋げ、生活習慣病の予防・改善、疾病の早期発見早期治療をめざす必要がある。
- ・ 感染症予防は、抵抗力が弱く集団発生しやすい年齢層を中心に、予防啓発や災害時の蔓延を見据えた取組みが必要である。

【具体的取組4-1-1】

地域における支え合いの充実① - おまもりネット事業の推進 - （「参考資料1」 P40 参照）

27年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

おまもりネットへの登録者数 5,000人以上

【取組実績】

おまもりネット事業の65歳以上高齢者への周知として、案内文書の個別配付（約20,000人を対象）に実施し、おまもりネット事業の認知度の向上を図った。

【業績目標の達成状況】

業績目標未達成。おまもりネット登録者数：4,050人（平成28年3月末時点）であったため。

➡ 改善策として、必要な対象者が速やかに登録できるよう制度の周知を引き続き行っていくとともに、支援が必要になる前からの登録を促すために周知方法について工夫していく。

28年度 主な取組内容（「参考資料2」 P60 参照）

「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉活動を推進するとともに、要支援者の個別支援のためのコーディネートを行う。

【具体的取組 4－1－2】

地域における支え合いの充実② - 有償ボランティアの推進 - （「参考資料 1」 P41 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

有償ボランティアのマッチング件数：250 件

【取組実績】

有償ボランティア制度の本格運用を開始するとともに、65 歳以上高齢者への周知を行うために、案内文書の個別配付（約 20,000 人を対象）を実施。

【業績目標の達成状況】

業績目標未達成。有償ボランティアのマッチング件数：148 件（平成 28 年 3 月末時点）であったため。

➡ 今後の社会状況において、既存の制度だけでは対処できないニーズに対応できる仕組みとして一定の効果はあったが、継続的な運営が求められていることから、平成 28 年度以降は住民主体の自主的な運営への移行を図る。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P60 参照）

要支援者セーフティネット構築事業を実施する中で連携し、上記の住民主体の自主的な運営を支援していく。

【具体的取組 4－2－1】 健康づくりへの意識の向上（「参考資料 1」 P42 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

事業で実施している血管年齢測定等の体験者のうち、健康に関心を持った行動変容者：80%以上

【取組実績】

地域と協働で健康教室を開催するとともに、健康づくりを考える東成区健康夏得フェスタを開催し、200名以上が参加。

【業績目標の達成状況】

健康づくりに関する態度変容の意向割合が83%であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P62 参照）

健康寿命を延伸するため、区民や地域が主体的に健康づくりに取り組めるよう啓発活動を行う。

【具体的取組 4－2－2】

在宅医療・在宅療養を支援する環境整備（「参考資料 1」 P43 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

講座参加者のうち、在宅医療・在宅療養に対する理解度：60%以上

【取組実績】

地域の拠点づくり支援のための補助金を交付するとともに、地域での学習会・交流会（メディカルカフェ）や区民フォーラムを開催

【業績目標の達成状況】

講座参加者のうち、在宅医療・在宅療養に対する理解度が98%であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P61 参照）

多職種や地域、区民の連携促進に努めるとともに、身近な地域での区民等関係者への普及啓発を進める。

【具体的取組 4－2－3】 感染症予防対策 （「参考資料 1」 P43 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

感染症予防教室等の参加者のうち、感染症予防に関する理解度と正しい手洗いの継続意向を示す割合：70%以上

【取組実績】

東成区内の地域集会所、幼稚園、小学校にて感染症予防のための手洗い教室を実施。

【業績目標の達成状況】

感染症予防教室等の参加者のうち、感染症予防に関する理解度・予防行動がとれる割合が80%であったため、業績目標を達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P63 参照）

「ひがしなり手洗いキュッキュッキュの歌」を活用し、正しい手洗い方法の啓発を行う。

課題5 区役所力

- ・ 区民の多様な意見を収集する取組の強化が必要であるとともに、区政情報の効果的な発信が求められている。
- ・ 職員のチャレンジ精神や職員の主体的な活動を職場全体で「褒める・認める・評価する」ことで職員がやりがいを感じて最善を尽くすことのできる職場風土づくりが必要である。
- ・ 職員と区長の意思疎通が十分図られることや、区長が職員の気づきを積極的に取り入れ、風通しの良い職場環境をつくる必要がある。

【具体的取組5－1－1】区政会議運営事業（「参考資料1」 P45 参照）

27年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

区政会議の認知度：60%以上

【取組実績】

全体会議の開催：3回

部会の開催：にぎわい・きずな部会、子ども・教育部会、保健福祉部会 各3回

【業績目標の達成状況】

業績目標未達成。区民モニターアンケートの結果、区政会議の認知度は37%であったため。

➡ 改善策として、より関心を持ってもらえるように、広報紙などで会議内容をわかりやすく解説するなど、情報発信の充実に努める。

28年度 主な取組内容（「参考資料2」 P70 参照）

区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用するため、区政会議と部会を開催し、効果的な情報発信により区政会議の認知度を高める。

【具体的取組 5－1－2】区民の声を把握する取組（「参考資料 1」 P46 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

区民モニターや事業参加者の満足度：80%

【取組実績】

区民モニターアンケート実施：3回

区長が直接地域などに出向き、区民の意見を聞く場を設けた回数：76 回

各校下への会議等参加実績：132 回以上

【業績目標の達成状況】

業績目標未達成。区民モニターや事業参加者の満足度が 73.1%であったため。

⇒ 改善策として、アンケート結果がどのように区政に反映されているのかをわかりやすく解説するなど広報の充実に努めるとともに、アンケート依頼者数を 1,500 人（前年比約 3 倍）に増やし、より多くの意見を聴取する。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P71 参照）

区民の多様な意見やニーズを把握するため、区民アンケートや地域担当職員による積極的な情報収集を行う。

【具体的取組 5－2－1】広報事業の充実（「参考資料 1」 P47 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

広報の満足度：70%以上

【取組実績】

地域情報の掲載：12 回

広報板の活用：24 回

【業績目標の達成状況】

区民モニターアンケートの結果、広報の満足度が 84%であったため、業績目標達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P72 参照）

様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報を行うとともに、地域参加型の広報紙配布業務を通じて地域課題の解決を図る。

【具体的取組 5－3－1】区民サービスの向上（「参考資料 1」 P48 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合：80%以上

【取組実績】

窓口サービス課の来庁者対象アンケートの実施。

「来庁者満足調査」アンケート記載用紙の収受：32 件

【業績目標の達成状況】

区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合が 83%であったため、業績目標達成。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P73 参照）

来庁者に対して「来庁者満足調査」を行い、環境改善に取り入れる。

【具体的取組 5－3－2】職員力向上（「参考資料 1」 P49 参照）

27 年度 業績目標 ・ 取組実績 ・ 業績目標の達成状況

【業績目標】

仕事にやりがいを感じている職員の割合：70%以上

【取組実績】

職員と区長ミーティングの開催：1 回

区民サービス向上プロジェクトチーム会議：9 回

【業績目標の達成状況】

業績目標未達成。仕事にやりがいを感じている職員の割合が 65%であったため。

➡ 改善策として、同じ目標に向かって職員が互いに力を合わせて取り組むことで、組織として大きな力を発揮する一体感のある職場づくりをめざすなど、職場環境の充実に努める。

28 年度 主な取組内容（「参考資料 2」 P74 参照）

職場の事務効率の向上や職場環境の改善のための取組みや区民サービス向上のための職員研修の実施。